



桜花 今ぞ盛りと 人は言へど 我れは寂しも 君としあらねば

4月の万葉集 巻18-4074 大伴 池主
(桜の花は今が盛りだと人はいうけれど、あなたがいないので私は寂しい)

出会いは神様からの贈りもの！

一週間前に満開だったサクラの花も春の陽気に誘われて散り急いでいるようです。令和4年度に入って10日ほどが経ちました。この間、学校園では始業式、入学式、入園式があり、子どもたちにとっても、先生方にとっても、また地域の皆様にとってもそれぞれに新たな出会いがあったと思います。



私は常々、人と人との「出会い」を大切にしてきました。かつて、私が耳にした「出会いは神様からの贈りもの」という言葉をいつも心に刻みつけています。それは、自分が今まで様々な人々との「出会い」があり、なぜかその時、その時に微力な自分であるにもかかわらず、周りの人たちに自分を活かしてもらっていたからです。23年間の学校現場での教員生活、県教育委員会での8年5か月、田原本小学校、十津川中学校、真美ヶ丘中学校での校長としての6年7か月、そして今、お世話になっている広陵町教育委員会とこれまでの様々な仕事の中で数多くの人々との「出会い」があり、その「出会い」が「つながり」となって自分を高めてもらったことに喜びを感じています。

学校園においては、今年度も子どもたちにとっては、新しい先生、新しい友だちとの「出会い」があり、保護者の皆さんにとっては、PTAという学校園と保護者の皆さんとのつながりの中で新たな「出会い」があり、先生方にとっては、初めての子どもたちや保護者の皆さん、そして教職員同士の「出会い」があります。一人一人の「出会い」の数に違いはあるものの、「神様からの贈りもの」である新たな「出会い」を大切に、それぞれが高め合っていくことが広陵町の教育を発展させることにつながるのではないかと思います。



広陵町教育委員会は今年度、新たに教育行政を担う部署として教育振興部という名称でスタートしました。それぞれの課においては、これまでと業務内容は変わりませんが、ただ一つ学校支援室が学校支援課となり、特別支援教育やいじめ・不登校、虐待など今日的な教育課題に迅速に対処する課として対応していきます。子どもたち一人一人が笑顔に溢れた楽しい学校園生活を送れるよう教育委員会も学校園の応援団として、心新たにして取り組みたいと思います。何とぞ皆様方のご支援ご協力をよろしくお願いします。

凡事徹底とA B C Dの原則！

かつて、私が校長であったとき、子どもたちに「凡事徹底」という文字を示したことがありました。この言葉の意味は「人として当たり前で平凡な事でも、それを徹底して継続することによって、非凡な(優れた)成果が得られる」ということです。

私たちの周りにも、簡単なことで当然できて当たり前のことなのに、意外とできていないことが多く見受けられます。あいさつをする、身の回りを整理する、そうじする、時間を守る、服装を正す、感謝の気持を表す等々です。あれもこれもやるのではなく、この中の一つでも長い期間ずっと続けていくことで、やがてそれは「優れたもの」に昇華していくと思います。

「凡事徹底」という同じ意味で、かつて、入学式の式辞の中で話したものに「A B C Dの原則」があります。



『「A B C Dの原則」とは、A=あたりまえのことを B=ばかにしないで C=ちゃんとやれる人が D=できる人です。「あたりまえのこと」とは、明るくあいさつすること、呼ばれたらしっかり返事すること、時間を守ること、そうじをしっかりとすること、友達をいじめないことなどで、世の中では、「A B C Dの原則」ができないために様々な問題が起こっているという現実があります。また、学校で学ぶべき学習内容はもちろんですが、学校をはじめ、社会を生き抜くためには必要な、人として一生、身に付けておかなければならないもの、その一つが「A B C Dの原則」です。』という話をしました。

とにかく、ほとんどの人は1日と同じサイクル(ルーティーン)で生活しています。その中で、何か一つの当たり前のことを徹底して実行していくことこそがより良い生活を築いていくことになると思います。

今月の一言

「人から忠告を受けたら、彼の中に天の声、天の意思があると思いなさい。

そうすればその忠告は、たとえどんな内容のものであっても、あなたにとって有益なものとなるでしょう。」
ジョセフ・マーフィー

米国で活動したアイルランド出身の宗教者、著述家です。

人からの忠告は、あなた自身を高めるためのもので、天から発せられた声や意思だと、そして、その忠告を真摯に受け止めることがあなたの成長につながるとマーフィーは言っています。



教育委員会の取組

学校から



令和4年度 教育委員会の主要事業について

令和4年第1回広陵町議会（3月議会）招集の日に、令和4年度における山村町長の施政方針とともに、私の教育長としての施政方針を述べさせていただきました。

下記に、令和4年度の教育委員会が進める主要事業をお示しします。

- 町独自の学力調査（小学5年生と中学2年生）〔継続〕
- 3年生を対象とした広陵放課後塾の実施（町内全小学校を対象）〔継続〕
- 特別支援教育のより一層の充実及び北小学校の通級指導教室「かがやき教室」、真美ヶ丘第二小学校の「はばたき教室」の連携とその充実〔継続〕
- 幼稚園・こども園における長期休業中の預かり保育の充実と就学前教育の充実〔継続〕
- コミュニティ・スクール（学校運営協議会）の町内すべての学校での実施〔継続〕
- 学校給食費多子軽減補助金（義務教育期間での第3子以降の給食費相当分を補助）〔新規〕
- 学校トイレの洋式化・乾式化工事（東小学校と広陵中学校）〔新規〕
- 広陵西小学校屋上防水修繕工事〔新規〕
- 部活動外部指導員の配置及び教職員の働き方改革の推進〔継続〕
- GIGAスクール構想の一人1台パソコン端末の配付によるICT教育の充実とICT支援員の配置〔継続〕
- 統合型校務支援システム導入事業〔新規〕
- 文化芸術推進基本計画の策定とさらなる文化芸術振興及びスポーツ振興の充実、総合型地域スポーツクラブ「広陵ステーションプラス1クラブ」への支援〔新規と継続〕
- 世代間交流事業のふれあいパークゴルフの開催〔継続〕
- 図書館と学校図書館の連携事業及び図書館開館25周年記念イベントの開催〔新規〕
- 文化財のデジタルミュージアム構想及び特別史跡巢山古墳の整備事業の推進、文化財の観光資源としての活用〔継続〕
- 食育としての学校給食の充実と食品ロスへの対応〔継続〕



以上の主要事業を令和4年度に進めます。

また、広陵町教育大綱を5年ぶりに見直し、その教育理念を「輝く未来のために ともに学び つながり合う いい人づくり」として「みなさんと共にいい人づくり」をしていくとともに、昨年と同様「Challenge」「Creation」、「Bond」の3つの合い言葉も踏襲しつつ、広陵町の教育のため、子どもたちのために、地域との絆・つながりを大切にしながら、皆さまと共に手を携えて、教育行政を進めてまいりますので、何とぞご支援ご協力をお願いいたします。

各学校の入学式の様子（写真集）



広陵東小学校



広陵北小学校

広陵西小学校



真美ヶ丘第一小学校



真美ヶ丘第二小学校



広陵中学校



真美ヶ丘中学校